

札幌市立大学デザイン学部 公開講座

子ども向けワークショップ 「アートにであう」

2026年

7月4日（土曜日）

13:00～16:00

札幌文化芸術交流センター SCARTS モールC

（札幌市中央区北1条西1丁目 札幌市民交流プラザ 2F）

みてみて！

「なにに見える？」 「なにが聞こえる？」 …

「どんなふうを感じる？」 おしえて！

「こんなかたち」、「あんなおと」 …

「わくわくしちゃう！」

アートはみんなの自由がつまってる

だからみんなが

おはなししても、お絵がきしても、おどっても…

みんなでたくさんの「見える」「感じる」を楽しんでね！



予約不要
参加
無料

保護者のみなさまへ

札幌市立大学デザイン学部の学生が、札幌市民交流プラザにあるアート作品「札幌のかたちを巡る2018」を題材として、こどものみなさんに8つ（予定）のワークショップを開きます。

参加したみんなが、楽しく「アートにであう」ためにたくさんの工夫をしました。

ワークショップは短い時間で体験できるものばかり。

たくさんの「アートにであう」がまっています！（裏面もご覧ください）

お問合せ 札幌市立大学 サテライトキャンパス TEL：011-218-7500

主催：札幌市立大学デザイン学部

共催：札幌市図書・情報館（札幌市教育委員会）

札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）



札幌市立大学
SAPPORO CITY UNIVERSITY

器になった凹み

学生とアーティストが向き合う「場」としての彫刻



2026年7月4日(土) 12:30 ~ 14:00

スピーカー

谷口顕一郎 (アーティスト)

佐藤 康平 (本郷新記念札幌彫刻美術館 学芸員)

細谷 多聞 (札幌市立大学デザイン学部 教授)

モデレーター

藤沢 礼央 (札幌市立大学デザイン学部 講師・アーティスト)

会場

札幌市民交流プラザ 札幌市図書・情報館 1階サロン
(札幌市中央区北1条西1丁目)

入場無料

予約不要 (定員 50名 先着順)

札幌市民交流プラザに浮かぶ彫刻『凹みスタディ - 札幌のかたちを巡る 2018』は、札幌市立大学デザイン学部の授業フィールドとなってから3年が経ちます。

作品を手がけたアーティスト谷口顕一郎氏をお迎えし、学生たちの取り組みの印象や自作がワークショップという形を通して参加者に伝わっていく現象、学びの場(フィールド)となった彫刻について、また今年芸術の森を舞台に行われるプロジェクトについてもお話しいただきます。

谷口顕一郎 Profile

1976年、札幌生まれ。北海道教育大学札幌校 芸術文化課程 絵画科を卒業。2006年よりドイツ・ベルリンと札幌を拠点に活動。自然と人間の境に見つけた痕跡を「凹み」と呼び、世界各地で収集・アーカイブすることをライフワークとしている。その凹みの形に折りたたむなどの動きを加え、3次元の可動彫刻を制作している。オランダ司法省新築ビル(2012年)等にて公共彫刻の設置を手がける。第1回本郷新記念札幌彫刻賞受賞(2015年)、ペーパーアートアワード銅賞受賞(2023年ドイツ・ベルリン)。主な展覧会にアムステルダム国立美術館、ロッテルダム美術館、A4美術館(中国・成都)テジョン美術館(韓国・大田)コダ美術館(オランダ・アペルドールン)などがある。近年、石狩川の名残である三日月湖や河跡などで「凹み」を集める長期プロジェクト「石狩川凹み遊行」を行っている。

